

1	(1)	555	(2)	228	(3)	165	(4)	80
	(5)	81	(6)	508	(7)	43 (か月)	(8)	480 (秒)
	(9)	70	(10)	155	(11)	32 (cm)	(12)	500 (円)

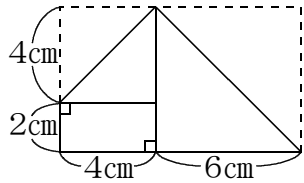
2	(1)	88	(2)	530
---	-----	----	-----	-----

3	(1)	4	(2)	6
---	-----	---	-----	---

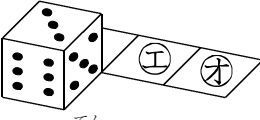
4	(1)	22 cm	(2)	100 cm
---	-----	-------	-----	--------

5	(1)	6 通り	(2)	15 通り
---	-----	------	-----	-------

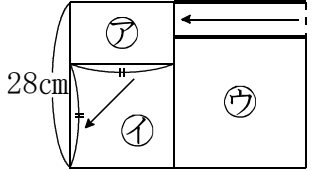
6	(1)	10 人のうち 2 人	(2)	2 人
---	-----	-------------	-----	-----

- 1 (5)  $120 + \square = 201$   
 $\square = 201 - 120 = \underline{81}$
- (6)  $\square - 37 = 471$   
 $\square = 471 + 37 = \underline{508}$
- (7) 1年 = 12か月  
 3年7か月 =  $12 + 12 + 12 + 7 = \underline{43}$  (か月)
- (8) 1分 = 60秒  
 8分 =  $60 \times 8 = \underline{480}$  秒
- (9) 20に  $\square$  を半分にした数をたすと55。  
 $55 - 20 = 35$ より,  $\square$  は35。  
 $35 + 35 = \underline{70}$   $\square$
- (10)  $1 + 2 + 3 + \dots + 10 = 55$   
 $11 + 12 + 13 + \dots + 20 = 55 + \square$   
 上下にかいてくらべる。下の式は、上の式より、  
 1つにつき10大きい。数は10こあるので、  
 $10 \times 10 = 100$ 大きくなる。  $\rightarrow \square = 100$   
 よって、 $55 + 100 = \underline{155}$
- (11)  $2 + 4 = 6$  (cm) … たて  
 $4 + 6 = 10$  (cm) … 横  
 $6 + 10 = 16$  (cm)  
 $16 + 16 = \underline{32}$  (cm)
- 
- (12)  $550 - 350 = 200$  (円) … なし1こ  
 $350 - 200 = 150$  (円) … りんご1こ  
 よって、りんご2ことなし1こは、  
 $150 + 150 + 200 = \underline{500}$  (円)

- 2 (1)  $10\text{cm} = 100\text{mm}$ なので、  
 $0\text{cm}$ が0,  $10\text{cm}$ が100のものさしでは、  
 $1\text{mm}$ が1になる。  
 $8\text{cm}8\text{mm}$ は88mmなので、88。
- (2)  $550 - 150 = 400$ が10cmぶん。  
 $400 = 40 \times 10$ より、1cmあたりで40。  
 $40 = 4 \times 10$ より、1mmあたりで4。  
 $550 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 = \underline{530}$   
 上の式で、5mmは1cmの半分だから、40の半分  
 の20をひく、としてもよい。

- 3 (1) 2の次で、4。
- (2) ①までころがしても、6は  
 ずっと手前側、1はずっと  
 奥側にある。②にくつつく  
 目は1。②→③→④はちょうど半回転なので、④  
 にくつつく目は、1のうらの6。
- 

- 4 (1)  $88 = 22 + 22 + 22 + 22$ より、  
 ②の1辺は22cm。

- (2) まず、②から太線部分を  
 のぞき、右はしを③のよ  
 うに左に動かして、のこ  
 りを長方形にする。この  
 長方形の「たて+横」が、③より28cm。  
 よって②のまわりの長さは、  
 $28 + 28 + 22 + 22 = \underline{100}$  (cm)
- 

- 5 (1) ①が最も大きい数だが、①と②は同じでもよい。  
 ③が1のとき、④は1から3の3通り。  
 ③が2のとき、④は1から3の3通り。  
 よって、 $3 + 3 = \underline{6}$  (通り)
- (2) ①が4のとき、②は1から4の4通り。  
 ①が5のとき、②は1から5の5通り。  
 ①が6のとき、②は1から6の6通り。  
 よって、 $4 + 5 + 6 = \underline{15}$  (通り)

- 6 (1)  $18 - 5 = 13$  (組)より、勝った子どもは13人。  
 パーを出した子どもは、  
 $36 - 11 - 15 = 10$  (人)  
 そのうち勝った子どもは、  
 $13 - 5 - 6 = 2$  (人)  
 よって、10人のうち2人が勝ち。
- (2) パーを出して負けた子どもの人数は、チョコキを出  
 して勝った子どもの人数と同じ6人。  
 よって、 $10 - 2 - 6 = \underline{2}$  (人)

(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10  
 6(1) ; 完答